

# 垂水区会

## 半日に100件の案内も 垂水会の舞子駅観光ガイド 福1 - 垂 坪田 勝治

“他の喜びをわが喜びに...”平成10年3月の卒業が、そのスタートでした。「何をなすべきか」有志あいより、話し合っ始めたのが、天下の景勝地、舞子公園を中心としたクリーン作戦でした。

毎月1回の活動に並行して、明石海峡大橋の建設と駅舎周辺の改造工事が進められ、地元に住む者にも分かりづらい通路ができ、多くの観光客、通行人の問いかけと困惑が目につきました。そうした人々のお役にたつならばと、ガイドを始めました。



1期生たちの舞子駅観光ガイド

四国方面への高速バス乗り場、舞子ピラを中心とした付近の案内は、半日で百件を越す事もありました。なかには待ち合わせの場所が分からない老夫婦と、子供たちを探し回って逢わせたり、就職の面接時間の迫った若者と探した先は、マンションの一室だったりーなどの相談もあり多くの人に喜ばれた。

また「淡路島の松帆温泉の営業時間はわかるか」「釣りの餌はどこで買えばいいのか」「新設の老人施設はどこか」などの難問にもみんな親切にガイドしていました。淡路島に帰るといふ若者からは「本当にお金を貰ってないのか」と私たちのボランティア活動を不思議そうな質問などもありました。

舞子駅のガイドは気象警報が出ない限り、雨の日も風の日も休まずに続けられ、すでに8年を経過しました。1期生から10期生までの47名が11班に編成して、土、日曜日、祝日、の午前10時～12時 毎週活躍しております。

# 須磨区会

## 真夏の須磨海岸の清掃 須磨区会の継続活動 国2 - 須 浦上 俊樹



汗だくになって須磨海水浴場の清掃

須磨区会では年間を通じて次のような活動を継続して実施しています。

須磨海水浴場の清掃作業 特別養護老人ホーム神港園での入浴後のケア 神戸大学での老人看護学演習の協力 特別養護老人ホーム3箇所での花見や遠足などの付き添いーを行っています。

なかでも須磨海水浴場の清掃作業は、大阪湾沿岸で唯一残っている海水浴場なので、美しい環境を保つために、地元に住む私たちが少しでもお役に立ちたいと、平成11年から始めたものです。

最盛期の7～8月は毎週月曜日、4～6・9～11月は毎月末、午前8時半に集合して、赤灯台の場所から300m四方、海岸に残されたゴミを拾い集める作業を約1時間、汗だくに行なっています。海水浴客のマナーは年々良くなって、ゴミの量も減っています。最近は夜間に花火や飲酒のためにやってくる人が増え、花火の燃え殻やタバコ・ビール缶などが目立つようになりました。

毎回、10名から15名の会員が参加、真夏の暑さの下での作業ですが、途中一服して見渡せば、目前には美しい砂浜、背後には緑の須磨アルプスを眺めることができます。作業終了後に飲む冷えたお茶の味はまた格別です。

# 長田区会

## 1年が過ぎたパン販売 在校生の皆さんにも好評 美8 - 長 松本 治司

シルバーカレッジロビーに私達のパン販売コーナーがあります。毎週火、金曜日の2回、学生さん達にパンを販売しています。「パンはいかがですか...」学生さん達に声をかけます。長田区会がそんなボランティア活動をはじめて9月で1年が過ぎました。

NPO法人「中央むつみ会」が障害者の就労事業として、はじめたパンの販売店「ふらわぁぼえむ」が新長田に

あります。私達はその販売店からシルバーカレッジまで車でパンを運搬して学生さんに販売しています。最初は無関心だった学生さんも「今日はどんなパンがあるの?」「このパンは美味いよ」そんな声を掛けながら集まってきました。



「パンはいかが」大声で呼びかけるパン屋さん

「ふらわぁぼえむ」では朝早くから7カ所の販売店へパンを持って出かけます。障害を持つ若い人たちが不自由な手で、足を使って頑張っています。また難しい人間関係の中で精一杯働いている姿には感動します。

シルバーカレッジでは、カリキュラムの関係で、登校する生徒が少ない日があります。そんな日にはパンが売れ残ります。彼達はさらに大きな声で「パンを買ってください」と呼びかけて少しでも多く売ろうと頑張っています。でも、逆に時間内に完売できた時には、思わず「万歳」の声が出ます。

ボランティアは精神的にも、肉体的にも確かに疲れます。しかし、共に悲

しみ、喜び、そして感動する。私はその瞬間が大好きです。そんな事を考えるとボランティアは自分の為かも知れません。

また明日もパンが完売できる事を祈ります。